

永作地藏尊

地藏尊を安置する地藏堂です。

本尊は、花崗岩で作られ、台座とも高さ一、四メートルの大きいもので、台座に享保十九年七月、施主稲村〇〇、梅村泰助両名と記されています。

各地にみられるいぼ地藏と同じく、いぼのできたとき、心願をかけると落ちるといわれ、俚人の信仰を集め、身にあまるほどの衣裳を着、奉納の旗に囲まれておわします。

本堂は、広畑線道路改修により、従来より北へ三〇メートルのところに昭和五十三年にたてられました。間口三間、奥行二間半です。前は堂内に地藏尊を安置していましたが、新築



一盃盛地藏尊

県道広畑線、布川遊園地より北へ百メートル、道のすぐ側に真新しい堂宇があります。これが、小手郷巡礼礼所六番、一盃盛地藏尊または、永作地藏尊。そしていぼ地藏とも呼ばれて人々に親しまれている